| 学校番号 | 410 |
|---|---|

# 令和３年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 日本史Ａ「現代からの歴史」（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 最新日本史図表（第一学習社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教室での学習と自宅や地域などでの学習とを結合することにより、生徒の興味や探求心を一層喚起し日本史における基本的な知識の摂取だけではなく、歴史的興味の深まりと他領域への関心の広がりを付与させることのできる学習活動をおこなう。また、基本的な知識を定着させるために単元毎に復習の時間を設けて、反復の中で学習内容を定着させることを目指す。

## 2　学習の到達目標

日本の歴史の展開を世界史的な視野に立って総合的に考察させ、日本の文化と伝統について認識を深めさせる。また、日本史の学習を通して、主権者としての自覚を促し民主的な国際社会の発展に寄与する自覚と資質を育成する。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 | 世界各国で起こっている諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 近現代史を中心とする日本とそれに密接にかかわる世界の国々に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | 近現代史を中心とする日本とそれと密接にかかわる世界の国々ついての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察<br>ノートやワークシートの記述 | 学習状況の観察<br>定期考査の結果<br>ノートやワークシートの記述 | 学習状況の観察<br>定期考査の結果<br>ノートやワークシートの記述 | 学習状況の観察<br>定期考査の結果<br>小テスト結果 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 一学期 | 近代日本の形成 | ・国際情勢の変化と明治維新<br>・明治新政府の諸改革<br>・立憲国家の成立 | ○<br><br>○ | ○<br>○ | <br>○<br>○ | <br>○ | a:近代日本国家の成立過程について、その時代の人物や遺跡・遺物などにふれ、関心を養う。<br>b:前近代と近代の違いを理解しつつ、近代日本国家の構造や発展過程の特徴を考察し、表現することができる。<br>c:歴史資料や歴史地図、年表などを活用する力を身につけている。<br>d:近代日本国家形成の過程とその特徴を理解している。 | 学習状況の観察<br>ノート、ワークシートの点検<br>定期考査、小テスト |
| | 東アジア世界の変動と日本 | ・日清戦争と近代社会の確立<br>・日露戦争と帝国日本の形成 | ○<br>○ | ○<br>○ | <br>○ | ○ | a:近代日本国家の展開過程で起こった民衆運動や戦争について意欲的に追求しようとしている。<br>b:民衆運動や戦争などが起こる歴史の構造を考察し、表現することができる。<br>c:地域に残る歴史資料、歴史地図、遺跡などを調べ、まとめる力を身につけている。<br>d:近代日本国家の展開過程で、民衆運動や戦争の背景、経過、結果について理解している。 | 学習状況の観察<br>ノート、ワークシートの点検<br>定期考査、小テスト |
| 二学期 | 二つの世界大戦と日本 | ・第一次世界大戦と帝国日本<br>・政党政治の時代<br>・軍国日本への道<br>・太平洋戦争 | ○<br><br><br>○ | <br>○<br>○<br> | ○<br><br><br>○ | ○<br><br>○<br>○ | a:第一次・第二次世界大戦について、祖父母や関係者などから聴き取るなかで、関心を養う。<br>b:第一次・第二次世界大戦が起こった背景・経過・結果について考察し、表現することができる。<br>c: 地域に残る歴史資料、歴史地図、遺跡などを調べ、まとめる力を身につけている。<br>d: :第一次・第二次世界大戦が起こった背景・経過・結果について理解している。 | 学習状況の観察<br>ノート、ワークシートの点検<br>定期考査、小テスト |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第二次世界大戦後の国際社会と日本 | ・現代世界の開幕と日本の戦後<br>・高度経済成長の時代 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:戦前と戦後の世界の違いについて関心を持つとともに、現代まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b:戦前と戦後の違いを認識し、表現することができる。<br>c: 歴史資料、歴史地図、新聞などを調べ、まとめる力を身につけている。<br>d:戦前と戦後の日本国家の構造の違いを理解する。 | 学習状況の観察<br>ノート、ワークシートの点検<br>定期考査、小テスト |
| 三学期 | 現代の世界と日本 | ・国際秩序のゆらぎと経済大国日本<br>・冷戦の終焉と日本 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:戦前・戦後から続く現代の諸課題を歴史的観点に基づいて意欲的に追及しようとしている。<br>b: 戦前・戦後から続く現代の諸課題を歴史的観点から考察し、適切に表現することができる。<br>c: 歴史資料、歴史地図、新聞などを調べ、まとめる力を身につけている。<br>d:戦前・戦後から続く現代の諸課題に関する知識を身につけている。 | 学習状況の観察<br>ノート、ワークシートの点検<br>定期考査、小テスト |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。